

科目名		必修・選択	単位数	類型
英語特講		選択	2	普通科
教科書 副教材等	ゲートウェイ英作文 改訂版（文英堂）			

1 学習目標

- ① 構文を使うべき場面を見抜く、分析力を身に付ける。
- ② 英語の構文を活用して、不自由なく英作文ができる。
- ③ 文で表現すること、文法を活用することを通じて、論理的思考力と表現力を身に付ける。

2 学習概要

- ア 導入 : 例文を音読し、この後の活動で使う表現を確認する
- イ 活動（演習）：確認した表現を用いた問題演習によって、表現に慣れる
- ウ 活動（実践）：確認した表現を用いた英作文に取り組むことによって、思考力・表現力を養う

3 学習方法

（1）授業への取組

- ・言語の基本は音声にあります。作文が主の授業ではありますが、発音や聞き取りの練習として、音読やペアワークに積極的に取り組みましょう。
- ・定着のためにはアウトプットが不可欠です。失敗を通して経験値を積むことを意識しましょう。黙っていたり紙が空白のままだったりすると、何の上達もできません。単語だけでもよい、途中までもよい、違っていてもよいので、必ず何かしら形にしましょう。

（2）家庭学習

- ・予習：例文を読み、これまでに学んだ語句や表現を思い出す。
- ・復習：知識定着と表現力向上には、反復練習が不可欠です。授業の活動では間違いを恐れずにどんどん発信していくことが大切であり、復習では、構文・文法を正確に使えたかを振り返り、一度書いた作文や原稿の誤りを訂正しリライトすることが有効です。

4 評価について

（1）評価方法

「話すこと〔やり取り〕」、「話すこと〔発表〕」、「書くこと」の3領域を、「知識・技能（①）」「思考・判断・表現（②）」、「主体的に学習に取り組む態度（③）」の3観点で評価します。

具体的な評価方法は以下の通りです。

- ・定期考査（中間・期末考査）……………①、②
- ・授業中の確認テスト（ペーパー）または発表（口頭）……………①、②、③
- ・授業中の発問に対する応答……………①、②、③
- ・授業に対する姿勢や態度……………②、③
- ・課題や提出物等の提出状況……………①、②、③

上記の項目を総合し、単元及び学期、学年の評価とします。

(2) 評価規準

	知識・技能 (①)	思考・判断・表現 (②)	主体的に学習に取り組む態度 (③)
評価規準	[知識] 発話や作文において、語彙や文法を正確に使っている。幅広い語彙を使うことができる。 [技能] 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを詳しく話したり書いたりして伝え合することができる。 適切な発音、リズム、アクセントで発話することができる。	[思考力] 論理の構成や展開を工夫して発話や記述ができる。 [判断力] 学んだ構文を使うべき場面を判断できる。 [表現力] 自分の意見や主張などを不足なく発話や文に盛り込むことができる。	授業中の活動に積極的に取り組んでいる。 授業中の発言、教員への質問等を通して自らの力を高めようと努めている。 他者の発話や記述を積極的に理解しようと努めている。

5 学習計画

学期	単 元 名	学習のねらい	考査等
一学期	There is/are A / S is[are] ...	「～が...にある」を表す	中間テスト
	S+V+C	「S が...になる／に見える」を表す	期末テスト
	S+V+副詞(句)	「S はどうする」のかを表す	
	S+V+O / S+ V + O + O	「S が何[誰]をどうする／誰に何をどうする」を表す	
	S+V+O+C	「S は何[誰]を～な状態にする, ～だと思う」を表す	
	S+V+O+C	「S は何[誰]が～なのを見る／何[誰]に～させる」を表す	
	受動態	「S は～される」を表す	
二学期	不定詞・動名詞	名詞のカタマリを作る	中間テスト
	V+O+to 不定詞/疑問詞+to 不定詞	名詞のカタマリを作る	期末テスト
	名詞節	名詞のカタマリを作る	
	it を用いた構文	名詞のカタマリを作る	
	形容詞句	形容詞のカタマリを作る	
	関係詞	形容詞のカタマリを作る	
	時や条件・仮定を表す	副詞のカタマリを作る	
	原因・理由を表す	副詞のカタマリを作る	
	目的・手段を表す	副詞のカタマリを作る	
	譲歩を表す	副詞のカタマリを作る	
三学期	ことばを補う	省略された語・目的語や所有格を補う	学年末テスト
	わかりやすく言いかえる	数や量を表す	
	わかりやすく言いかえる	文構造を変換する	
	わかりやすく言いかえる	表現を変える, 英語から外す	
	情報を並べる	and, but, or を正しく使う	